

地図

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領（平成29年3月）に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通 観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。
	(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長		
共通 観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4)	社会的事象について、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができるよう工夫されているか。
	(5)	主題図や統計、写真等は、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を支える上で、適切な内容、構成、表現方法であるか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通 観点	(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

地図

観 点		発 行 者	東 書	帝 国
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長				
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。		「現代社会の課題を解決するために『SDGs』を知ろう！」において、17の持続可能な開発目標を解説し、関連する資料を明示することで、諸課題を解決する取組に参画しようとする態度を養う構成となっている。	「地図で考える持続可能な社会」では、SDGsに関連付けて環境問題や脱炭素社会への動きなどを地図と写真で紹介する特集ページを設けることで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う構成となっている。
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。		「地形図の読み取り」では、長崎市が事例に取り上げられている。また、浅茅湾、東山手地区、原子爆弾投下時の長崎が写真や地図で扱われており、長崎の自然や文化、歴史が分かりやすく紹介されている。	世界遺産として大浦天主堂が写真とともに地図に示されているほか、原爆の被害を示した長崎市の地図、島原半島の防災を示す鳥瞰図が掲載され、長崎の歴史や自然災害が分かりやすく紹介されている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長				
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。		世界の各州、日本の各地方には、土地利用、人口分布、気候、産業などの主題図が共通して掲載されており、基礎的・基本的な知識を習得しやすいように工夫されている。	巻頭に地図帳の基本的な見方や使い方に加え、地図を読み解くポイントが分かりやすく解説されており、地図を読み取る知識・技能を習得しやすいように工夫されている。
(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。		「Bee's eye」のコーナーでは、地図や資料に対応した問いが示されており、資料を比較したり関連付けたりしながら見方・考え方を働かせて考えを表現することができるよう工夫されている。	「地図で発見！」のコーナーでは、地図や資料の着目する事柄を示した問いが示されており、見方・考え方を働かせることで、思考力・判断力・表現力等を育成することができるよう工夫されている。
(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。		現代的な諸課題について、解決に向けて活躍する人々の姿を写真で紹介することで、自己の行動について考えさせ、主体的に課題に迫り、解決しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。	鳥瞰図や絵図などを掲載することで、学習への興味・関心が高まるよう工夫されている。また、資料ページには、問いを示すことで、主体的に課題を追究することができるよう工夫されている。
(4)	社会的事象について、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができるよう工夫されているか。		関連する図版を並べて配置し、併せて示すことで、多面的に事象を捉えたり、事象の関連を見出したりすることができるよう工夫されている。	世界各地と日本との結び付きが分かる資料を掲載することで、現在や将来の社会が直面する課題等について調べることができるよう工夫されている。
			地図帳の活用を補助する「Bee's eye」のコーナーを多く設けることで、資料を読み取る力や活用する力を身に付けることができるよう工夫されている。	巻末の索引では、地名と資料を併せて掲載し、国名や自然地名を色別にしたリ、歴史地名や世界遺産などを記号で区別して示したりすることで、情報を効果的に調べることができるよう工夫されている。
(5)	主題図や統計、写真等は、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を支える上で、適切な内容、構成、表現方法であるか。		基本資料の次にテーマ資料のページを設けたり、各分野との連携を意識し、学習課題に沿って詳細な資料を掲載したりすることで、多面的・多角的に社会的事象を捉えることができる構成となっている。	統計資料では、上位5・下位5の国や都道府県の数値が色や太さを変えて明確に示されることで、課題を追究する上で読み取りやすい表現方法となっている。
			資料を読み取る視点を示した「Bee's eye」のコーナーは、難易度に応じてキャラクターを使い分けることで、生徒の習熟度に応じて社会的な見方・考え方を働かせることができる構成となっている。	「地図で発見！」のコーナーを用いて資料を読み取る視点を示すことで、社会的な見方・考え方を働かせて課題の解決ができる構成となっている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長				
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。		資料やグラフには、説明文が添えられており、資料を効果的に活用させるために、分かりやすく記述されている。	地図中に絵記号やイラスト、写真が多く掲載されており、必要な情報が一目で視認でき、凡例や説明は簡潔に表現されている。
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。		歴史的分野や公民的分野の学習内容に関連するアイコンやSDGsとの関連を示すことで、社会的諸事象を広く捉えたり、深く追究したりすることができるよう配慮されている。	歴史的分野や公民的分野の学習内容に関連する地図や統計資料をアイコンで示すことで、学習内容を相互に関連付け、学習効果を高めることができるよう配慮されている。
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。		地図や資料は陰影を抑えたシンプルなデザインにするとともに、容易に見分けられる色の組み合わせを取り入れることで、見やすくなるよう配慮されている。	地図や地勢図、鳥瞰図に用いられる文字や絵記号は、デザインを大きくしたり、色彩を明るくしたりすることで、見やすくなるよう配慮されている。